

2026年5月8日

経済産業省製造産業局長 殿

一般社団法人日本塗料工業会会長

中東情勢発生後の生産活動について

ホルムズ海峡閉鎖等、中東情勢の悪化に伴い、石油やナフサの供給不安が報道された直後からトルエン、キシレン等に関し、取引先より、供給制限、先行きの不透明感が伝えられ、塗料、シンナーの安定製造に不安な状況が継続致しております。

この様な状況の中、経済産業省統計の速報を整理致しましたところ、2026年3月の溶剤系合成樹脂塗料の出荷量は、前年同期比111%となりました。塗料製造メーカー各社は原材料の入手が厳しい中、市場の需要に応えるべく原材料を確保し生産に尽力した結果と考えております。

塗料・シンナーの製造環境が厳しい中、需要家の皆様のご要望に可能な限りお応えできるよう努力いたしておりますので、トルエン、キシレンだけでなく、酢酸エチル、IPA、メタノール等の各種溶剤、樹脂、顔料等、塗料、シンナーの製造に必要な原料が塗料業界に安定に供給されるようご配慮をお願い申し上げます。

また、4月28日に一般社団法人日本DIY・ホームセンター協会様宛に発出頂きました、中東情勢等を踏まえたシンナー、塗料等の溶剤、住宅資材の安定供給に向けた御協力について（要請）につきましては感謝いたしております。引き続き、需要家の皆様に現下の状況をご理解いただき、以下についてお声掛けいただけますようお願い申し上げます。

- * 通常の事業活動に基づく適正な購買・在庫水準の維持
- * 過度な先行発注や買い占め行動の自制

当工業会といたしましても、引き続き関係省庁および関係団体と連携し、情報収集・発信に努めるとともに、必要な措置の徹底など安定供給に必要な対応の協力を行ってまいります。引き続き、会員各社と一体となって今回の難局に取り組んでまいりますので、何卒よろしくようお願い申し上げます。

<本件に関するお問い合わせ>

一般社団法人日本塗料工業会
児島、金地
TEL 03-3443-2011
E-mail jpma6@toryo.or.jp